

S&P Dow Jones Indices

A Division of **S&P Global**

S&P/ASX オーストラリア指数 メソドロジー

2024 年 4 月

この資料は翻訳版です。原文（英語版）と内容の相違がある場合は英語版の内容をご参照下さい。英語版は www.spglobal.com/spdji よりご覧いただけます。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス：指数メソドロジー

目次

はじめに	3
指数の目的	3
指数ファミリー	3
GICS® 指数	4
産業指数及び資源指数	4
補足資料	5
適格性基準	7
全普通株指数	7
指数の適格性	7
適格性ファクター	7
指数の構築	11
構成銘柄の選択	11
指数の計算	11
指数の維持	12
リバランス	12
頻度	12
各リバランス間の指数構成銘柄変更のタイミング	13
コーポレート・アクション	14
浮動株修正係数 (IWF)	16
計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ	16
指数データ	17
計算されるリターンのタイプ	17
フランキング・クレジット調整後トータル・リターン指数	17
配当ポイント指数	18
指数ガバナンス	19
指数委員会	19
指数方針	20
発表	20
プロフォーマ・ファイル	20

休日スケジュール	20
リバランス	20
予定外の取引所の閉鎖	20
再計算の方針	21
リアルタイムの計算	21
指数停止に関するフォールバック条項	21
お問い合わせ先	21
指数の配信	22
ティッカー	22
指数データ	22
ウェブサイト	22
付属資料 I	24
S&P/ASX 200 (除く S&P/ASX 100) 指数 (オーストラリアドル)	24
S&P/ASX 100 (除くエネルギー) 指数 (オーストラリアドル)	25
S&P/ASX 200 (除くエネルギー) 指数 (オーストラリアドル)	26
S&P/ASX 300 (除くエネルギー) 指数 (オーストラリアドル)	27
付属資料 II	28
S&P/ASX 指数年表	28
付属資料 III	30
メソドロジーの変更	30
S&P Dow Jones Indices 免責事項	33
パフォーマンスに関する情報開示/バックテストされたデータ	33
知的財産権/免責条項	34
ESG 指数の免責事項	36

はじめに

指数の目的

S&P/ASX オーストラリア指数は様々な規模や、業種、テーマ、戦略にわたり ASX 上場企業のパフォーマンスを測定します。各指数はオーストラリア株式市場の特定のセグメントを表すように設計されています。

S&P/ASX オーストラリア指数は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスとオーストラリア証券取引所 (ASX) の関係構築により開発されました。

指数ファミリー

- **S&P/ASX 20** : この指数は、ASX に上場している銘柄の中で浮動株調整後時価総額が最も大きく、活発に取引され、かつ流動性の高い 20 銘柄のパフォーマンスを測定します。
- **S&P/ASX 50** : この指数は、ASX に上場している銘柄の中で浮動株調整後時価総額が最も大きく、かつ流動性の最も高い 50 の指数適格銘柄のパフォーマンスを測定します。
- **S&P/ASX 100** : この指数は、ASX に上場している銘柄の中で浮動株調整後時価総額が最も大きい 100 銘柄のパフォーマンスを測定します。この指数は S&P/ASX 指数ファミリーの大型株及び中型株の構成銘柄を表します。
- **S&P/ASX 200** : この指数は、ASX に上場している銘柄の中で浮動株調整後時価総額が最も大きく、かつ流動性の最も高い 200 銘柄のパフォーマンスを測定します。
- **S&P/ASX 300** : この指数は、ASX に上場している銘柄の中で浮動株調整後時価総額が最も大きく、かつ流動性の高い 300 銘柄のパフォーマンスを測定します。この指数には S&P/ASX 指数ファミリーの大型株、中型株、及び小型株の構成銘柄が含まれます。
- **S&P/ASX 200 (除く S&P/ASX 100)** : この指数は、原指数の中で S&P/ASX 100 に組み入れられている銘柄を除いた構成銘柄のパフォーマンスを測定します。
- **S&P/ASX 中型株 50** : この指数は、S&P/ASX 100 の中型株の構成銘柄 (大型株の構成銘柄を除く) のパフォーマンスを測定します。
- **S&P/ASX 小型普通株** : この指数は、S&P/ASX 300 に含まれるが S&P/ASX 100 には含まれない企業のパフォーマンスを測定します。
 - **S&P/ASX 小型普通株セレクト** : この指数は、S&P/ASX 小型普通株の中で利益がプラスの小型株銘柄のパフォーマンスを測定します。
- **S&P/ASX 中小型株** : この指数は、S&P/ASX 300 に含まれるが S&P/ASX 50 には含まれない銘柄のパフォーマンスを測定します。この指数は S&P/ASX 中型株 50 指数と S&P/ASX 小型普通株指数を組み合わせています。
- **S&P/ASX オール・オーストラリアン 50** : この指数は、指数の目的上、「国内証券」または「オーストラリア証券」¹ と定義される ASX 上場銘柄の中で浮動株調整後時価総額が最も大きく、かつ流動性の高い 50 銘柄のパフォーマンスを測定します。この指数は S&P グローバル 1200 の中のオーストラリアの構成銘柄です。

¹ 「国内／オーストラリア」証券の完全な定義については、*適格性基準*のセクションを参照ください。

- **S&P/ASX オール・オーストラリアン 200**：この指数は、指数の目的上、「国内証券」または「オーストラリア証券」と定義される ASX 上場銘柄の中で浮動株調整後時価総額が最も大きく、かつ流動性の高い 200 銘柄のパフォーマンスを測定します。
- **全普通株**：この指数は、オーストラリア株式市場全体のパフォーマンスを測定し、ASX に上場している大型株 500 銘柄で構成されており、流動性基準や浮動株修正係数 (IWF) の最低要件がありません。この指数は浮動株調整後時価総額により加重されない唯一の S&P/ASX 指数ファミリーのメンバーです。

GICS®指数

この指数は世界産業分類基準 (GICS) により定義されるオーストラリア株式市場の様々なセクター及び産業グループのパフォーマンスを測定するように設計されています。

GICS に関する詳しい情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの世界産業分類基準 (GICS) メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' GICS Methodology) を参照ください。

産業指数及び資源指数

産業指数及び資源指数は S&P/ASX 100、S&P/ASX 200、S&P/ASX 300、S&P/ASX 中型株 50、及び S&P/ASX 小型普通株に表されています。これらの指数は GICS に関する基準を中心に定義され、構成されています。資源はエネルギー・セクター (GICS ティア 1) 及び金属・鉱業 (GICS ティア 3) に分類される銘柄として定義されています。産業指数は他の全てから構成されており、GICS の資本財セクターとは明確に異なります。

S&P/ASX オール・テクノロジー指数：この指数は、ASX に上場しているテクノロジー企業のパフォーマンスを測定します。ここでいうテクノロジー企業とは、GICS 情報技術セクターや、「適格性基準」に記載されている特定の GICS 産業サブグループに含まれる企業となります。この指数は浮動株調整後時価総額により加重されます。ただし、単一構成銘柄のウェイトは指数ウェイト全体の 10% を上限とします。

S&P/ASX アグリビジネス指数：この指数は、ASX に上場している農業企業のパフォーマンスを測定します。ここでいう農業企業とは、「適格性基準」に記載されている特定の GICS 産業サブグループの中で、関連する事業活動のキーワードに該当する企業となります。この指数は浮動株調整後時価総額により加重されます。ただし、単一構成銘柄のウェイトは指数ウェイト全体の 10% を上限とします。

指数構成銘柄の組入株数は、リバランス月の第 2 金曜日の直前の水曜日の終値を参照価格として使用して計算されます。指数の組入株数が計算され、参照日に決定されたウェイトに達するように指数の組入株数が各銘柄に割り当てられます。指数の組入株数は、リバランス日の 7 営業日前の価格に基づいて割り当てられることから、市場の動きにより、リバランス時点の各銘柄の実際のウェイトと 7 営業日前の価格に基づくウェイトとは異なる場合があります。

キャップド指数のウェイト計算に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology) を参照ください。

S&P/ASX 300 金属・鉱業指数：この指数は S&P/ASX 300 に基づき、金属・鉱業 (GICS ティア 3) に分類される銘柄で構成されます。

S&P 普通株ゴールド指数：この指数には全普通株指数の金産業サブグループ (GICS ティア 4) に含まれる企業が含まれます。

S&P/ASX 100 均等加重指数及び S&P/ASX 200 均等加重指数：各指数は浮動株調整後時価総額で加重されるもう一方の指数と同じ構成企業を有していますが、四半期毎のリバランス時において **S&P/ASX 100 均等加重指数**については各企業に **1%**、**S&P/ASX 200 均等加重指数**については各企業に **0.5%**の固定ウェイトが配分されます。

S&P/ASX 200 A-REIT 均等加重指数：この指数には浮動株調整後時価総額で加重される **S&P/ASX 200 A-REIT 指数**と同じ構成銘柄が含まれます。ただし、四半期毎のリバランス時において各企業に固定の均等ウェイトが配分されます。

四半期の途中で銘柄が指数に追加される場合には、除外される銘柄のウェイトが追加される銘柄に割り当てられます。ただし、銘柄が **0.00** ドルの価格で指数から除外される場合は例外とします。その場合、新たに追加される銘柄は前日の終値を利用したウェイト、または除外される銘柄が **0.00** ドルの価値になる前の最後の営業日の終値を利用したウェイトで指数に追加されます。

S&P/ASX 300 均等加重指数：この指数には浮動株調整後時価総額で加重される **S&P/ASX 300 指数**と同じ構成銘柄が含まれますが、構成銘柄は均等加重されます。また、**S&P/ASX 300 指数**は半年毎にリバランスされますが、**S&P/ASX 300 均等加重指数**では四半期ごとに構成銘柄のウェイトが再設定されます。

均等加重指数について、リバランス月の第 2 金曜日の前の水曜日の終値を参照価格として利用して構成銘柄の指数組入株数を計算します。指数の組入株数を計算し、参照日に決定されたウェイトに達するように指数の組入株数を各構成銘柄に割り当てます。指数の株数は、リバランスの 7 営業日前の価格に基づいて割り当てられるため、市場の動きの結果、リバランス時点での各銘柄構成銘柄の実際のウェイトは、参照日のウェイトとは異なる場合があります。

均等加重指数の計算に関する詳細については、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)** を参照ください。

補足資料

このメソドロジーは、補足資料と併せて読まれることを意図しています。補足資料では、ここに記載されている方針、手順、及び計算に関するより詳しい説明を提供しています。このメソドロジー全体を通して、特定のテーマに関連する補足資料を紹介していますので、詳細についてはそちらをご覧ください。このメソドロジーの主な補足資料や、それらの資料のハイパーリンクのリストは以下の通りです。

補足資料	URL
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー	株価指数方針及び実務
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー	指数算出メソドロジー
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの浮動株調整メソドロジー	浮動株調整メソドロジー
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの世界産業分類基準 (GICS) メソドロジー	世界産業分類基準 (GICS) メソドロジー
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの国別分類メソドロジー	国別分類メソドロジー

このメソドロジーは、このメソドロジー資料により管理される各指数に対する投資家の関心を測定するとの上記の目的を達成するために、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**が開発したものです。指数が継続的に目的を達成するように、このメソドロジーに対する変更やこのメソドロジーからの逸脱は、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**独自の判断と裁量によって行われます。

ASX、ALL ORDINARIES は ASX Operations Pty Ltd.の商標であり、これを利用するライセンスが S&P Dow Jones Indices に付与されています。

適格性基準

全普通株指数

指数の適格性

この指数の構成銘柄は ASX に上場している普通株及び優先株のユニバースから選択されます。

適格性ファクター

上場：ASX に上場している株式だけが S&P/ASX 指数のいずれかへの採用について検討されます。

本籍：この指数は ASX 上場株式全体のユニバースから選択し、このユニバースには ASX へのプライマリー上場及びセカンダリー上場が含まれます。セカンダリー上場は、ASX が主な取引所ではなく、その銘柄が複数の市場に上場している場合に生じます。これには、海外で設立または登録され、ASX 以外の取引所にプライマリー上場している外国籍の事業体が含まれます。

「外国籍」として分類される証券は、S&P/ASX オール・オーストラリアン 50 及び S&P/ASX オール・オーストラリアン 200 を除いて、S&P/ASX 指数の大部分の採用基準を満たしています。外国籍の証券は ASX に上場している特定の外国証券のデータ報告慣習により、特殊な取扱いの対象となる場合があります。かかる措置は、各指数がオーストラリア市場を代表する一方で、構成銘柄の売買回転率を制限し、指数のボラティリティを抑えることを確保するために必要不可欠です。本資料で詳述されているとおり、外国籍の証券に関するルールは具体的に時価総額や指数の維持に関係します。

「国内」として分類される証券は、全ての S&P/ASX 指数の採用基準を満たしており、指数の適格性及び指数ウェイトを決定する広く標準化された指数ルールに従います。国内証券は S&P/ASX オール・オーストラリアン 50 及び S&P/ASX オール・オーストラリアン 200 のユニバースを形成するために利用されます。

国内及び外国籍の証券に関する指数定義の詳細は以下のとおりです：

- **国内**：以下の企業は国内と見なされます：
 - オーストラリアで設立され、ASX で取引されている企業、または
 - 海外で設立されているが、ASX だけに上場している企業、または
 - 海外で設立され、その他の海外市場でも取引されているが、取引活動の大部分が ASX で行われている企業。
- **外国籍**：一般に、以下の企業は外国籍企業となります：
 - 海外で設立されており、及び（または）
 - 複数の海外市場に上場しており、及び
 - 取引活動の大部分が海外取引所で行われている。

国内または外国籍の分類を判断する際には、最長 12 ヶ月の様々な期間にわたり、ASX で取引されている株式と海外市場に上場している株式の金額及び取引高を比較・レビューします。一般に、その他の海外市場に上場している株式と比較して、ASX での取引が明確かつ継続的に過半数 60%以上) を占めてい

る場合（またはその逆の場合）、分類の変更が行われます。合併または買収の結果として分類に変更があった場合、ケースバイケースでレビューされます。

適格証券：指数に適格であるためには、全ての普通株及び優先株（債券の性質を持たない）は **GICS** により分類される必要があります。転換株などのハイブリッド株式、債券、ワラント、及び固定リターンを保証する優先株は適格ではありません。証券のポートフォリオに投資する上場投資会社（**LIC**）及び上場投資信託（**LIT**）は指数の採用基準を満たしていません。エクイティ不動産投資信託（**REIT**）及びモーゲージ不動産投資信託（**REIT**）は指数採用に適格です。

現時点で買収の標的となっている企業は、**S&P/ASX** 指数の採用基準を満たしておらず、または **S&P/ASX** 指数ヒエラルキー内における昇格の対象になりません。

時価総額：**S&P/ASX** 指数は制度上、投資可能と見なされる証券のみを組入れます。また、時価総額は銘柄選択の重要な基準となります。銘柄がオーストラリア市場内における代表的な指数の最低ランキング要件を満たすのに十分な規模の時価総額を有する場合、指数に採用されます。

S&P/ASX オール・テクノロジー指数、**S&P/ASX** アグリビジネス指数、及び全普通株指数を除いて、指数に採用されるための時価総額基準は、過去 6 ヶ月にわたる証券の日次平均時価総額に基づいています。**ASX** の過去の株価履歴（過去 6 ヶ月、価格調整が必要なコーポレート・アクションについて調整する）、直近の発行済み株数、及び浮動株修正係数（**IWF**）がその計算に関係する変数です。**IWF** は **ASX** 上場証券に関する浮動株数を判断するために主に用いられる変数です。

S&P/ASX オール・テクノロジー指数に関して、各証券の 3 ヶ月の平均浮動株調整後時価総額はリバランス参照日時点で最低 1 億 2,000 万オーストラリアドルである必要があります（現在の構成銘柄は 8,000 万オーストラリアドル）。

S&P/ASX アグリビジネス指数では、**ASX** に上場する時価総額上位 1,000 銘柄で構成されるユニバースから、リバランス参照日に証券を選択します。

全普通株指数では、6 ヶ月間の平均時価総額が最も大きい 500 銘柄を選択し、ランキングの目的のために、これらの全ての企業に 1 の **IWF** を割り当てます。

流動性：定期的に取り引される証券だけが **S&P/ASX** 指数の採用基準を満たしています。ある銘柄の流動性はそれと同等の銘柄と比較して測定されます²。相対的流動性は以下のとおり計算されます：

$$\text{相対的流動性} = \frac{\text{銘柄の流動性中央値}}{\text{市場流動性}}$$

ここで：

- 銘柄の流動性中央値は、各銘柄の **ASX** での日々の出来高の中央値を、過去 6 ヶ月の浮動株/指数ウェイト調整後時価総額の平均で除したものである。また、
- 市場流動性は全普通株指数を構成する 500 銘柄の流動性中央値の時価総額加重平均を用いて決定される。**S&P/ASX 300** を構成する銘柄は浮動株調整後時価総額で加重され、それ以外の指数については未調整時価総額で加重される（全普通株指数を構成する銘柄については **IWF** を 1 とするが、**S&P/ASX 300** ではその限りではない）。

相対的流動性の閾値は以下のとおりです：

² 流動性の計算には、オンマーケット取引とオフマーケット取引の両方を含む **ASX** の総取引金額データを使用。

- **S&P/ASX 200** : 銘柄が S&P/ASX 200 及びより高いヒエラルキーの指数に採用されるためには、最低 50%の相対的流動性が必要となります。銘柄の相対的流動性が 50%の閾値の半分以下に低下した場合、その銘柄は指数への採用が不適格となり、次のリバランス時点で指数から除外されます。
- **S&P/ASX 300** : S&P/ASX 300 に採用されるためには、最低 30%の相対的流動性が必要となります。銘柄の相対的流動性が 30%の閾値の半分以下に低下した場合、その銘柄は指数への採用が不適格となり、次のリバランス時点で指数から除外されます。
- **S&P/ASX オール・テクノロジー指数** : S&P/ASX オール・テクノロジー指数に採用されるためには、最低 30%の相対的流動性が必要となります。銘柄の相対的流動性が 30%の閾値の半分以下に低下した場合、その銘柄は指数への採用が不適格となり、次のリバランス時点で指数から除外されます。

出来高の中央値 (MDVT) : 各リバランス参照日時点で、各銘柄は次の MDVT 要件を満たす必要があります。

- **S&P/ASX オール・テクノロジー指数** : 3 ヶ月間の MDVT が最低 25 万オーストラリアドルであること (現在の構成銘柄は 17 万 5,000 オーストラリアドル)
- **S&P/ASX アグリビジネス指数** : 6 ヶ月間の MDVT が最低 8 万オーストラリアドルであること (現在の構成銘柄は 6 万 4,000 オーストラリアドル)

セクター分類 : 各銘柄は GICS により分類されます。GICS は企業の売上高、利益、及び市場の認知度など、多くの評価基準に従って銘柄を分類します。

GICS の 11 セクターに加えて、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスではオーストラリア市場に関するその他の産業セグメントも認識しており、以下の指数を計算しています :

- **A-REIT** = 株式不動産投資信託 6010 (GICS ティア 2) + モーゲージ不動産投資信託 402040 (GICS ティア 3)
- **資源** = エネルギー 10 (GICS ティア 1) + 金属・鉱業 151040 (GICS ティア 3) 、及び **産業** = その他の全銘柄
- **金属・鉱業 151040** (GICS ティア 3)
- **金 15104030** (GICS ティア 4)
- **オール・テクノロジー** = 情報技術 45 (GICS ティア 1) + 情報処理・外注サービス 20202030、民生用電子機器 25201010、ヘルスケア・テクノロジー 35103010、取引・決済処理サービス 40201060、インタラクティブ・メディア・サービス 50203010 (GICS ティア 4)
- **アグリビジネス** = 肥料・農薬 15101030、紙製品 15105020、食品流通 30101020、醸造 30201010、蒸留酒・ワイン 30201020、農産物・サービス 30202010、包装食品・肉 30202030、医薬品 35202010、水道 55104010、各種不動産投資信託 601010、その他の専門不動産投資信託 601080³

事業活動の説明⁴において、次のキーワードの内の 1 つ以上が記載されている企業を適格企業とします (農業、飲料、醸造、大麻、乳製品、農場、肥料、魚、食料雑貨店主、麻、殺虫剤、麦芽、肉、牛乳、農園、カリ、蒸留酒、ワイン)。

プラスの利益 : S&P/ASX 小型普通株セレクトについては、各リバランス参照日時点で、1 株当たり利益 (EPS) データが指数ユニバースの全ての銘柄について取得されます (過去 2 ヶ月の EPS データが事業

³ 2016 年 8 月以前には、各種不動産投資信託 40402010 及び専門不動産投資信託 40402070 も対象に含まれていました。

⁴ 事業活動の説明については、S&P グローバル・マーケット・インテリジェンスが情報源です。

年度の EPS より優先されます)。指数の採用基準を満たすためには、非構成銘柄は過去 2 年間の EPS がそれぞれプラスである必要があります。現在の構成銘柄については、リバランス参照日時点で EPS が 2 年連続してマイナスとなった場合、指数への採用が不適格となります。

発行済み上場株数：S&P/ASX 指数への採用または昇格について証券の指数適格性を検討する際に、検討対象となる指数証券の数は ASX 上場証券の直近の株数に基づきます。国内証券に関して、この数値は純粋に ASX から入手可能な直近のデータに基づきます。

外国籍の証券では、それらのグローバル自己資本を表す証券の総数を ASX に引用する場合がある一方、その他の外国籍の証券はそれらのオーストラリアの自己資本を表す部分的なベースで証券の数を ASX に引用する場合があります。この矛盾を取り除くために、S&P/ASX 指数では外国企業について CHES (決済機関電子登録システム) 預託証券 (CDI) により表される指数証券の数を引用します。CDI が発行されていない場合、オーストラリアの登録簿 (CHES、及び提供される場合、発行体の登録簿) に記載された証券の総数を使用します。外国企業に関して引用されるこうした数は、オーストラリアの自己資本を表しており、これにより S&P/ASX 指数はますますオーストラリア市場を反映することが可能になります。

ASX に引用される外国企業の CDI の数または株数は、発行済み普通株の通常の場合よりも不安定になる可能性があります。したがって、平均数値では、指数の時価総額を正確に測定するためにより確固たる数字を提供します。その発行済み平均株数は 6 ヶ月間にわたり適用されます。発行からの期間が 3 ヶ月未満の CDI については、入手可能な過去履歴が適用されます。コーポレート・アクション (例えば、スピンオフなど) により指数に組み入れられた CDI については、3 ヶ月間の平均株数が入手可能になった段階で、発行済み株数が次のリバランス時点でレビューされます。

CDI 情報が企業または企業の株式登録簿により ASX に提供されない場合、オーストラリアの自己資本に関する見積もりは CHES のデータ、及び最終的に登録簿に基づくデータから引き出されます。

CDI の数及び CHES の保有に関する月次データは以下の ASX ウェブサイトで入手可能です。
<https://www2.asx.com.au/listings/how-to-list/listing-requirements/foreign-entity-data>

指数の構築

構成銘柄の選択

各リバランス時点で、各指数の適格証券を選択し、各指数を構築します。

指数の計算

この指数は、あらゆる S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス株価指数で用いられる除数メソドロジーにより計算されます。

浮動株調整後時価総額加重指数、均等加重指数、及びキャップド時価総額加重指数の指数算出メソドロジーに関する詳しい情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology) における時価総額加重指数、均等加重指数、及びキャップド時価総額加重指数のセクションを参照ください。

指数の維持

リバランス

S&P/ASX オーストラリア指数シリーズでは定期的にリバランスが行われます。株数及び浮動株修正係数（IWF）の更新も定期的に行われます。リバランスに用いられるデータの参照日は、リバランス月の前月の最後から2番目の金曜日となります。

頻度

- S&P/ASX 20、S&P/ASX 50、S&P/ASX 100、S&P/ASX 200、S&P/ASX オール・オーストラリアン 50、及び S&P/ASX オール・オーストラリアン 200 の指数構成銘柄は、適正な時価総額及び流動性を確保するために四半期毎にリバランスされます。四半期毎のリバランスによる変更は、3月、6月、9月及び12月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。
- S&P/ASX 300 は半年毎にリバランスされ、3月及び9月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。
- S&P/ASX 中型株 50、S&P/ASX 中小型株及び S&P/ASX 小型普通株は、それぞれの親指数において構成銘柄の変更があった場合にリバランスされます。
- 全普通株指数は年1回リバランスされ、3月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。したがって、S&P/ASX 指数シリーズ全体は3月の第3金曜日の取引終了後にリバランスされます。
- S&P/ASX 小型普通株セレクトは半年毎にリバランスされ、3月及び9月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。
- S&P/ASX オール・テクノロジー指数は四半期ごとにリバランスされます。四半期ごとのリバランスによる変更は、3月、6月、9月、及び12月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。
- S&P/ASX アグリビジネス指数は半年毎にリバランスされ、5月及び11月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。リバランスで使用されるデータの参照日はそれぞれ4月及び10月の第3金曜日です。指数における各構成銘柄の株数は、リバランス月の第2金曜日の直前の水曜日の株価を参照価格として計算されます。

リバランス通知は3月、6月、9月、及び12月の第1金曜日に行われます。したがって、各レビューでリバランスが有効になる前に2週間の通知期間が与えられます。

S&P/ASX 20、S&P/ASX 50、S&P/ASX 100、S&P/ASX 200、S&P/ASX 300、及び全普通株指数は、構成銘柄がヒエラルキーの構造となっているため、指数に構成銘柄以外の銘柄が追加された場合、その銘柄はヒエラルキーの次の階層の指数にも追加されます。例えば、S&P/ASX 200 に構成銘柄以外の銘柄が追加された場合、その銘柄は同時に S&P/ASX 300 及び全普通株指数にも追加されます。

適格証券は、S&P/ASX のヒエラルキー内の各指数に関する証券の規定の割当てに対する証券のランクに基づき、指数への組入れが検討されます。例えば、現在 S&P/ASX 300 の構成銘柄であり、適格証券のユニバース内で浮動株調整後時価総額に基づき 175 にランク付けされた銘柄は、流動性の最低基準を満たせば、S&P/ASX 200 への組入れが検討されることがあります。

相対的流動性基準に達しない銘柄は通常、浮動株調整後時価総額ランキングから除外されます。3月と9月のリバランス時点で、現在の構成銘柄及び S&P/ASX 300 の相対的流動性要件を満たす銘柄はランキングに残り、それと同時に規模のヒエラルキーがレビューされます。

バッファー：指数の売買回転率を制限するため、適格の非構成銘柄は一般的に、浮動株調整後時価総額に基づき、現在の指数構成銘柄のランク及び／または流動性が十分に低いために除外された場合においてのみ、指数への組入れが検討されます。指数への組入れ及び指数からの除外には、所定の指数に対する証券のランクの点でバッファー要件を満たす必要があります。以下のバッファーは四半期毎のそれぞれのリバランスで発生し得る指数の売買回転率の水準を制限することを目的としており、これにより効率を最大化するとともに、指数ポートフォリオの維持に関するコストを抑えることが可能となります。

指数	ランク・バッファー	
	追加	除外
S&P/ASX 20	14 番目以上	26 番目以下
S&P/ASX 50	39 番目以上	61 番目以下
S&P/ASX 100	84 番目以上	116 番目以下
S&P/ASX 200	179 番目以上	221 番目以下
S&P/ASX 300	274 番目以上	326 番目以下

指数委員会は、指数構成銘柄の変更について判断を行う際に、これらの浮動株調整後時価総額のランク・バッファーをガイドラインとして使用します。しかし、指数委員会は正当な理由があれば、独自の裁量でこれらのルールを無視することができます。

各リバランス間の指数構成銘柄変更のタイミング

市場への通知：指数構成の変更は通常、予定されるコーポレート・イベントのタイミングが時々不確かなことを踏まえ、実践的な限り、かかるイベントについての指数の実行の 2～5 営業日前に行われます。通知は指数の発表を通じて取引時間外に行われます。

各リバランス間の追加：S&P/ASX 20、S&P/ASX 50、S&P/ASX 100、S&P/ASX 200 などの指数は構成銘柄数が固定されているため、各リバランス間での指数への追加は通常、指数からの除外によって空きが生じた場合にのみ行われます。一方、S&P/ASX 300 及び全普通株指数は構成銘柄数が固定されていないため、各リバランス間の追加は、S&P/ASX 200（指数ヒエラルキー内でそれより高い序列の指数）に追加される銘柄が構成銘柄以外の場合にのみ行われます。指数への追加は市場規模及び流動性に従って行われます。指数への追加を決定するために使用される参照日はケースバイケースで判断され、空きを引き起こしたイベントの時期に近い日が採用されます。

S&P/ASX 200 A-REIT 均等加重指数への四半期の途中での追加は、親指数の S&P/ASX 200 において 1 つの REIT が他の REIT に取って代わり、結果として指数に空きが生じた場合にのみ行われます。ある銘柄が四半期の途中で追加される場合、その銘柄は元の銘柄のウェイトを引き継ぎます。他の全てのケースでは、追加は四半期毎のリバランス時点においてのみ行われます。

S&P/ASX 200 A-REIT 均等加重指数、S&P/ASX 300、及び全普通株指数を除く全ての指数について、指数からの除外によって指数に空きが生じ次第、追加が行われます。

S&P/ASX 小型普通株セレクトについて、スピンオフを除き、半年毎のリバランス中にのみ指数への追加が行われます。

各リバランス間の除外：除外は、買収、合併、及びスピンオフ、または取引停止や破産があった場合に、2 つの指数リバランス日の間で生じる可能性があります。指数からある銘柄を除外する決定は、その

取引が完了するという十分な証拠が生じた時点で行われます。合併・買収（M&A）活動のために除外される銘柄は、現金のみの買収提案については除外日における証券の終値で指数から除外されます。さもなければ、市場で得られる最良価格が使用されます。

S&P/ASX 小型普通株セレクトについては、S&P/ASX 小型普通株から除外される指数構成銘柄が同時にこの指数からも除外されます。

S&P/ASX オール・テクノロジー指数及び S&P/ASX アグリビジネス指数について、適格な GICS に該当しなくなった構成銘柄は、少なくとも 1 取引日前の通告を以て指数からも除外されます。

コーポレート・アクション

指数	コーポレート・アクションの取り扱い
S&P/ASX 200	コーポレート・アクションに関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー（S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology）内の時価総額指数セクションを参照ください。
S&P/ASX 100	
S&P/ASX 50	
S&P/ASX 20	
S&P/ASX 300	
S&P/ASX 中型株 50	
S&P/ASX 中小型株	
S&P/ASX 小型普通株	
S&P/ASX 小型普通株セレクト	
全普通株	
S&P/ASX オール・オーストラリアン 50	
S&P/ASX オール・オーストラリアン 200	
S&P/ASX 200 A-REIT	
S&P/ASX 200 金融-x-A-REIT	
S&P/ASX 300 A-REIT	
S&P/ASX 300 金融-x-A-REIT	
S&P/ASX オール・テクノロジー指数	
S&P/ASX アグリビジネス指数	
S&P/ASX 300 金属・鉱業	
S&P/ASX 全普通株ゴールド	
S&P/ASX エマージング・カンパニー	
S&P/ASX 100 均等加重指数	コーポレート・アクションに関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー（S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology）内の均等加重指数セクションを参照ください。
S&P/ASX 200 均等加重指数	
S&P/ASX 200 A-REIT 均等加重指数	
S&P/ASX 300 均等加重指数	

スピンオフ： S&P/ASX 小型普通株セレクトを除き、スピンオフされた企業は権利落ち日にゼロの株価で親企業の全ての指数に追加されます。スピンオフされた企業が浮動株調整後時価総額に基づき S&P/ASX 指数に追加されることが不適格と見なされた場合、その企業は通常の取引の 1 日以上後にそれぞれの指数から除外されます。

S&P/ASX 小型普通株セレクトについて、スピンオフされた企業は権利落ち日にゼロの株価で指数に追加され、次のリバランスまで指数に残ります。リバランス参照日時点で、その企業が利益を上げた場合は指数に残り、損失を被った場合は指数から除外されます。

最初の利益によるスクリーニング後、スピンオフされた企業は所定の除外ルールに従って取り扱われません。

企業が利益を報告する最初のリバランス参照日は、スピンオフされた企業が利益を報告する前にそのリバランスが行われた場合、スピンオフされた企業の権利落ち日後の実際のリバランス参照日とは一致しません。

S&P/ASX オール・テクノロジー指数に関して、スピンオフされた企業は、権利落ち日にゼロ価格で指数に加えられます。スピンオフされた企業が適格な **GICS** に分類されなかった場合、その企業は少なくとも 1 取引日後に指数から除外されます。スピンオフされた企業が適格な **GICS** に分類された場合、次の四半期ごとのリバランスまでこの指数に留まり、その時点で継続的な採用の是非が判断されます。

S&P/ASX アグリビジネス指数に関して、スピンオフされた企業は、権利落ち日にゼロ価格で指数に加えられます。スピンオフされた企業が適格な **GICS** に分類されなかった場合、その企業は少なくとも 1 取引日後に指数から除外されます。スピンオフされた企業が適格な **GICS** に分類された場合、次の半期ごとのリバランスまでこの指数に留まり、その時点で継続的な採用の是非が判断されます。

スピンオフについては、参照日時点で入手可能な株価及び価値を使用して適格性を判断します。

新規株式公開 (IPO) 及び直接上場 : **S&P/ASX オール・テクノロジー指数**を除いて、**IPO** 銘柄または直接上場銘柄は、指数に適切な空きが生じた場合、あるいはリバランスによる場合にのみ、指数に追加され、最低 8 週間の流動性の証明が条件となります。

ただし、多額の取引高が指数への組入れを正当化するような特別に大規模の **IPO** については例外となる場合があります。特別に大規模の **IPO** とは、相対的浮動株調整後時価総額のランクに基づいて **S&P/ASX 20** への組入れが検討される場合のある **IPO** です。

IPO 及び直接上場については、参照日時点で入手可能な株価及び価値を使用して適格性を判断します。

S&P/ASX オール・テクノロジー指数に関して、**IPO** 銘柄及び直接上場銘柄はファースト・トラック・エントリーの対象となります。ただし、次の条件に従うものとします：

- 新たな **IPO** 銘柄と直接上場銘柄のみがファースト・トラック・エントリーの対象となります。
- ファースト・トラックによって **IPO** 銘柄及び直接上場銘柄を採用する場合には、浮動株調整後時価総額の最低基準を満たしている必要があります。この最低基準は、証券レベルで 3 億オーストラリアドルであり、提供される株数（オーバーアロットメント・オプションを除く）と、**ASX** における取引初日の終値を用いて計算されます。この基準の水準は適宜見直され、市場状況との一貫性を確保するために、必要に応じてアップデートされます。
- これに加えて、**IPO** 銘柄または直接上場銘柄は指数の流動性要件を除くその他全ての適格性基準を満たしている必要があります。全ての必要な公開情報が入手可能な場合、**S&P DJI** はファースト・トラック条件が満たされていることを検証します。**IPO** 銘柄または直接上場銘柄がファースト・トラック・エントリーの適格性基準を満たしていると **S&P DJI** が発表した後、その銘柄は 5 営業日のリードタイムをもって指数に採用されます。四半期ごとのリバランス凍結期間中にファースト・トラックによって **IPO** 銘柄及び直接上場銘柄を採用することが可能な場合には、リバランス有効日に指数に採用されます。

株数の更新 : 全ての指数構成銘柄の株数は四半期毎にレビューされ、百の位で四捨五入して千の位に丸めます。

外国籍の証券に関する株数の更新は各四半期のリバランス時に行われます。発行済み株数の更新は、発行体の登録簿のオーストラリア部門（提供される場合）及び **CHESS** が保有する **CHESS** 預託証券 (CDI) または証券総数の 3 ヶ月平均がリバランス参照日時点で、現在用いられる株数と 5% またはそれ以上異なる場合にのみ行われます。

CDI 情報が企業または企業の株式登録リストによって ASX に提供されない場合、オーストラリアの株式資本に関する見積もりは、CHESS のデータ及び最終的に登録リストに基づくデータから引き出されます。CDI の数に関する月次データ及び CHESS の保有データは以下の ASX ウェブサイトで入手可能です：<https://www2.asx.com.au/listings/how-to-list/listing-requirements/foreign-entity-data>。

浮動株修正係数 (IWF)

IWF は、9 月の四半期リバランスの一環として毎年レビューされます。毎年の IWF レビューに加え、特定のイベントが生じた場合、四半期の途中または四半期リバランス時に IWF のアップデートを行う場合があります。

株数及び IWF のアップデートに関するより詳しい情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの浮動株調整メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Float Adjustment Methodology) 及び S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Policies & Practices Methodology) を参照ください。

S&P/ASX 指数の標準的な取り扱いに対する例外について以下に詳述します。

S&P/ASX 指数の各企業に対して浮動株修正係数 (IWF) が割り当てられます。全普通株を除き、ある銘柄が指数への組み入れに適格となるには、最低 0.3 の IWF が求められます。ただし、既存の構成銘柄が指数に残るためには、0.3 以上の IWF を維持する必要はありません。全普通株は時価総額で加重され、全ての構成銘柄に 1 の IWF が割り当てられます。

S&P/ASX 指数における外国籍の証券の IWF は通常、1 に設定されます。

計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ

LSEG が提供するスポット為替レートをシドニー時間の午後 4 時 17 分に毎日入手し、全ての主要な指数の 1 日の終わりの指数計算に使用します。

リアルタイムでの継続的な指数計算では、LSEG が提供するリアルタイムのスポット為替レートが使用されます。

このメソドロジーに詳述されている指数に加え、指数の追加リターン・シリーズ・バージョンが利用可能な場合があります。利用可能な追加バージョンには、通貨、通貨ヘッジ、減衰、公正価値、インバース、レバレッジド、及びリスク・コントロールなどのバージョンが含まれます (ただし、これらに限定されない)。利用可能な指数のリストについては、[S&P DJI メソドロジー及び規制状況データベース](#)を参照ください。

外国為替レートは WMR のロンドン時間午後 4 時のレートが適用され、指数の計算に使用されます。仲値は LSEG のデータに基づいて WMR が計算し、LSEG のページに表示されます。

異なるタイプの指数の計算に関する情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology) を参照ください。

特定の指数タイプ (減衰指数、ダイナミック・ヘッジ指数、公正価値指数、及びリスク・コントロール指数など) を計算するための必要なインプットについては、www.spglobal.com/spdji で入手可能なパラメータ資料を参照ください。

指数データ

計算されるリターンのタイプ

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、複数のリターン・タイプを計算しており、これらの計算は定期的な現金配当の取り扱いによって異なります。定期的な現金配当の分類は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが決定します。

- プライス・リターン (PR) ・バージョンは、定期的な現金配当の調整なしに計算されます。
- グロス・トータルリターン (TR) ・バージョンは、配当権利落ち日の取引終了時に定期的な現金配当 (源泉徴収税を控除する前の金額) を再投資します。
- ネット・トータルリターン (NTR) ・バージョンは、可能な場合、配当権利落ち日の取引終了時に定期的な現金配当 (適用可能な源泉徴収税を控除した後の金額) を再投資します。グロス・トータルリターン (TR) ・バージョンにおいて再投資される定期的な現金配当額には、関連するフランキング・クレジットの価値は含まれません。

配当権利落ち日に定期的な現金配当がない場合、3つの指数の全ての日次のパフォーマンスは同一となります。

利用可能な指数の完全なリストについては、日次指数水準ファイル (「.SDL」) を参照ください。

定期的な現金配当と特別な現金配当の分類や、ネット・リターンの計算に用いられる税率に関する詳しい情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology) を参照ください。

リターン・タイプの計算に関する詳しい情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology) を参照ください。

フランキング・クレジット調整後トータル・リターン指数

追加のトータル・リターン指数が S&P/ASX200 や S&P/ASX 300 など、この指数ファミリーの多くの S&P/ASX 指数で利用可能であり、この指数では、現金配当に付随するフランキング・クレジットの税効果を調整します。この指数では2つの投資家セグメントに関連する税率を使用しています。1つのバージョンでは非課税投資家に適用する 0%の税率を使用し、もう1つのバージョンではスーパーアニュエーション基金に適用する 15%の税率を使用しています。普通現金配当と特別現金配当の両方に付随しているフランキング・クレジットは、それぞれの計算方法の中に含まれています。

- **フランキング・クレジット調整後年間トータル・リターン指数**：この指数シリーズでは日次の総配当ポイントを蓄積し、会計年度終了後に毎年、指数に再投資されます。再投資は、6月30日以降の最初の取引日の市場終了時に行われます。総配当ポイントは総配當時価総額の値 (報告された配當時価総額よりも少ない額) を取り、それぞれの配当の権利落ち日に有効な指数除数によりその値を除することにより得られます。0%及び15%の税率が総配当金額に適用され、リターンの計算に適用される正味税効果を決定します。

- **フランキング・クレジット調整後日次トータル・リターン指数**：この指数シリーズでは、総配当ポイントを蓄積するのではなく、権利落ち日の市場終了時に日次ベースで指数に総配当金額を再投資します。この場合も、0%及び15%の税率が配当総額に適用され、リターンの計算に適用される正味税効果を決定します。

配当ポイント指数

配当ポイント指数（指数算出メソドロジーを含む）に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー（S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology）を参照ください。

指数ガバナンス

指数委員会

S&P/ASX 指数は S&P/ASX 株価指数委員会によって維持されます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及びオーストラリア証券取引所の双方を代表する 5 名の投票権を持つメンバーで構成される指数委員会の議長を務めます。

指数委員会は定期的に会議を開いて市場の動向を検討するほか、必要に応じて会議を開き、重要なコーポレート・アクションに対処する。各会議では、指数構成銘柄に影響する可能性のある差し迫ったコーポレート・アクションや、指数構成銘柄と市場を比較する統計データ、指数への追加の候補となっている企業、その他の重大な市場イベントなどについて協議を行う場合があります。さらに、指数委員会は企業の選択、配当の取り扱い、株数、またはその他の事項に関するルールをカバーしている指数方針を修正する場合があります。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数の変更や、潜在的に市場に影響を及ぼす可能性のある重要な関連事項に関する情報を考慮します。したがって、指数委員会の協議内容は全て非公開となります。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数委員会は、必要が生じた場合、取り扱いに例外を設ける権利を留保します。取り扱いがこの資料に記載されている一般的なルールと異なるシナリオでは、可能な限り、お客様は十分な通知を受け取ります。

指数の日々のガバナンスや指数の維持に加え、指数委員会は 12 ヶ月間に少なくとも 1 回、メソドロジーをレビューすることで、記載されている目標を指数が引き続き達成し、データやメソドロジーが依然として有効であることを確保します。場合によっては、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは外部から意見を求める相談を公表することがあります。

メソドロジーの品質保証と内部調査に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの *株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)* を参照ください。

指数方針

発表

全ての指数構成銘柄は指数水準やリターンを計算する上で必要なデータを取得するために日々評価されます。日々の指数計算に影響を与える全てのイベントは通常、日々全ての顧客に配布される「指数コーポレート・イベント・レポート (.SDE)」を通じて、事前に発表されます。コーポレート・アクションの異例な取扱いやイベントのショートノティスは、Eメールにより顧客に通知される場合もあります。

指数への追加または指数からの除外など、市場に影響を及ぼす可能性のある発表は通常、市場の取引が終了する時に行われます。

全てのメソドロジーの変更は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイトに掲載され、全ての顧客に電子メールで公表されます。直近のバージョンは弊社ウェブサイト www.spglobal.com/spdji に掲載されています。

プロフォーマ・ファイル

コーポレート・イベント・ファイル (.SDE) に加えて、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、リバランスごとに各指数について、構成銘柄のプロフォーマ（事前予想）・ファイルを提供します。プロフォーマ・ファイルは通常、リバランス日前に提供され、次のリバランスにおいて有効となる全ての構成銘柄及び指数組入株数が収録されています。

リバランスの予定やプロフォーマの提供予定など正確なスケジュールについては、www.spglobal.com/spdji をご覧ください。

休日スケジュール

S&P/ASX 指数は年間の全ての営業日に計算され、これには州の休日も含まれます。取引所は国民の休日取引を停止し、指数はこれらの日には計算されません。

年間の休日スケジュールについては、www.spglobal.com/spdji を参照ください。

リバランス

指数委員会は、予定されたリバランス日やその前後に生じる市場の休日などの理由により、所定のリバランス日を変更する場合があります。かかる変更は、可能であれば適切な事前通知を以て発表されます。

予定外の取引所の閉鎖

予定外の取引所の閉鎖に関する詳細については、「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」を参照ください。

再計算の方針

指数の再計算方針の詳細については、「**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)**」を参照ください。

リアルタイムの計算

特定の **S&P/ASX** 株価指数については、取引時間中にリアルタイムで指数の計算が行われ、指数の価値は 1 日を通して構成銘柄の株価が変動するにつれて **30 秒毎**に更新されます。リアルタイム指数が再表示されることはありません。

*計算、価格の途絶、専門家の判断、及びデータのヒエラルキーに関する詳細については、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)** を参照ください。*

指数停止に関するフォールバック条項

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは **S&P/ASX 200** 指数を使用する市場参加者に対して、**S&P/ASX 200** 指数の停止が生じた場合における代替的な取り決めに関して、フォールバック条項を契約書類に盛り込むことを推奨します。市場参加者は、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**のコントロールが及ばない様々な要因により、**S&P/ASX 200** 指数の変更が必要となる場合があることを認識する必要があります。

お問い合わせ先

指数に関するご質問は、以下までご連絡ください：index_services@spglobal.com

指数の配信

指数水準については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト www.spglobal.com/spdji や、主要な情報ベンダー（以下のコードを参照）、投資関連ウェブサイト、活字及び電子メディアなどをご覧ください。

ティッカー

以下の表は、本資料がカバーしている主要な指数のリストです。以下の指数の全てのバージョンも、本資料がカバーしています。本資料がカバーしている指数の詳細なリストについては、[S&P DJI メソドロジー及び規制状況データベース](#)を参照ください。

指数（価格指数）	BBG	RIC	IRESS
S&P/ASX 200	AS51	.AXJO	XJO
S&P/ASX 100	AS25	.ATOI	XTO
S&P/ASX 50	AS31	.AFLI	XFL
S&P/ASX 20	AS26	.ATLI	XTL
S&P/ASX 300	AS52	.AXKO	XKO
S&P/ASX 中型株 50	AS34	.AXMD	XMD
S&P/ASX 中小型株	SPAXMS	.AXMS	XMS
S&P/ASX 小型普通株	AS38	.AXSO	XSO
S&P/ASX 小型普通株セレクト	SPAX3SAP	--	--
全普通株	AS30	.AORD	XAO
S&P/ASX 200 A-REIT	AS51PROP	.AXPJ	XPJ
S&P/ASX 200 金融-x-A-REIT	AS51FNXP	.AXXJ	XXJ
S&P/ASX 300 A-REIT	AS52PROP	.AXPK	XPK
S&P/ASX 300 金融-x-A-REIT	AS52FNXP	.AXXK	XXK
S&P/ASX オール・テクノロジー指数	SPAXATAP	.SPAXATAP	--
S&P/ASX アグリビジネス指数	SPAXAGAP	.SPAXAGAP	XAG
S&P/ASX 300 金属・鉱業	AS52XMM	.AXMM	XMM
S&P/ASX 全普通株ゴールド	AS30XGD	.AXGD	XGD
S&P/ASX エマージング・カンパニー	SPAXEC	.AXEMI	XEC
S&P/ASX 100 均等加重指数	SPAXEW	.AXEW	XEW
S&P/ASX 200 均等加重指数	SPAX2EAP	.AXEW	--
S&P/ASX 200 A-REIT 均等加重指数	AS51PE	.AXAE	--
S&P/ASX 300 均等加重指数	--	--	--

指数データ

日次の構成銘柄や指数水準データは、申込みにより、FTP 経由で取得可能です。

商品に関する情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス www.spglobal.com/spdji/en/contact-us にお問い合わせください。

ウェブサイト

詳しい情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト www.spglobal.com/spdji を参照ください。

付属資料 I

S&P/ASX 200 (除く S&P/ASX 100) 指数 (オーストラリアドル)

指数の目的：この指数は、原指数の中で **S&P/ASX 100** に組み入れられている銘柄を除いた構成銘柄のパフォーマンスを測定します。

原指数：S&P/ASX 200。原指数に関する詳細については、www.spglobal.com/spdji に掲載されている S&P/ASX オーストラリア指数メソドロジーを参照ください。

指数の適格性：原指数の中で **S&P/ASX 100** に組み入れられている銘柄を除いた構成銘柄がこの指数への採用に適格となります。

指数の構築：「指数の適格性」を参照ください。

指数への追加：原指数に追加される銘柄の中で、**S&P/ASX 100** の構成銘柄ではない銘柄は、同時にこの指数に追加されます。さらに、**S&P/ASX 100** から除外された銘柄の中で、原指数の構成銘柄にとどまる銘柄は、同時にこの指数に追加されます。

指数からの除外：原指数から除外される構成銘柄は、同時にこの指数からも除外されます。さらに、**S&P/ASX 100** に組み入れられる銘柄は、**S&P/ASX 100** への組み入れ日と同じ日にこの指数から除外されます。

構成銘柄のウェイト付け：この指数は、浮動株調整後時価総額で加重されます。

指数の維持：全ての指数調整及びコーポレート・アクションの取り扱い（リバランスを含む）は、原指数の取り扱いに従います。

計算に用いる通貨：この指数はオーストラリアドルで計算されます。

S&P/ASX 100 (除くエネルギー) 指数 (オーストラリアドル)

指数の目的：この指数は、原指数の中で **GICS** のエネルギー・セクター (コード：10) に分類されている企業以外の構成銘柄のパフォーマンスを測定します。

原指数：S&P/ASX 100

指数の適格性：各リバランス時点で、原指数の中で **GICS** のエネルギー・セクター (コード：10) に分類されている企業以外の構成銘柄が指数への採用に適格となります。

指数の構築：「指数の適格性」を参照ください。

指数への追加：適格基準を満たし、原指数に追加される銘柄は、同時にこの指数にも追加されます。

指数からの除外：原指数から除外される構成銘柄は、同時にこの指数からも除外されます。

GICS の再分類：構成銘柄の **GICS** の再分類に伴う変更は、再分類有効日にこの指数に反映されます。

構成銘柄のウェイト付け：この指数は、浮動株調整後時価総額で加重されます。

指数の維持：全ての指数調整及びコーポレート・アクションの取り扱い (リバランスを含む) は、原指数の取り扱いに従います。

計算に用いる通貨：この指数はオーストラリアドルで計算されます。

S&P/ASX 200 (除くエネルギー) 指数 (オーストラリアドル)

指数の目的：この指数は、原指数の中で **GICS** のエネルギー・セクター (コード：10) に分類されている企業以外の構成銘柄のパフォーマンスを測定します。

原指数：S&P/ASX 200

指数の適格性：各リバランス時点で、原指数の中で **GICS** のエネルギー・セクター (コード：10) に分類されている企業以外の構成銘柄が指数への採用に適格となります。

指数の構築：「指数の適格性」を参照ください。

指数への追加：適格基準を満たし、原指数に追加される銘柄は、同時にこの指数にも追加されます。

指数からの除外：原指数から除外される構成銘柄は、同時にこの指数からも除外されます。

GICS の再分類：構成銘柄の **GICS** の再分類に伴う変更は、再分類有効日にこの指数に反映されます。

構成銘柄のウェイト付け：この指数は、浮動株調整後時価総額で加重されます。

指数の維持：全ての指数調整及びコーポレート・アクションの取り扱い (リバランスを含む) は、原指数の取り扱いに従います。

計算に用いる通貨：この指数はオーストラリアドルで計算されます。

S&P/ASX 300 (除くエネルギー) 指数 (オーストラリアドル)

指数の目的：この指数は、原指数の中で **GICS** のエネルギー・セクター (コード：10) に分類されている企業以外の構成銘柄のパフォーマンスを測定します。

原指数：S&P/ASX 300

指数の適格性：各リバランス時点で、原指数の中で **GICS** のエネルギー・セクター (コード：10) に分類されている企業以外の構成銘柄が指数への採用に適格となります。

指数の構築：「指数の適格性」を参照ください。

指数への追加：適格基準を満たし、原指数に追加される銘柄は、同時にこの指数にも追加されます。

指数からの除外：原指数から除外される構成銘柄は、同時にこの指数からも除外されます。

GICS の再分類：構成銘柄の **GICS** の再分類に伴う変更は、再分類有効日にこの指数に反映されます。

構成銘柄のウェイト付け：この指数は、浮動株調整後時価総額で加重されます。

指数の維持：全ての指数調整及び一ポレート・アクションの取り扱い (リバランスを含む) は、原指数の取り扱いに従います。

計算に用いる通貨：この指数はオーストラリアドルで計算されます。

付属資料Ⅱ

S&P/ASX 指数年表

- 1979 1979年12月31日を基準日として、地域指数に代わる全普通株指数が開発され、シドニー及びメルボルンの取引所から独立して運営される。
- 1987 グローバル株式市場の暴落を受け、全普通株指数が1987年10月20日に519ポイント(25%)下落し、1日の下落幅として史上最大を記録する。
- 1988 ASXが証券取引自動売買システム(SEATS)電子取引プラットフォームを導入する。
- 1992 シドニー先物取引所(SFE)がオーストラリアで最初の株式先物契約を開始する。
- 1997 テクノロジーブームに乗って、全普通株指数が1997年10月29日に144ポイント(6%)上昇し、1日の上昇幅として史上最大を記録する。
- 1998 ASXが流動性ルールを含む最初の指数ルールの変更を実行する。これにより、指数への組み入れに適格となるためには、株式の流動性が市場全体の流動性の50%であることが必要となる。
- 2000 S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスがASXから指数ビジネスを引き継ぎ、以下の指数を導入する：
- S&P/ASX 指数シリーズ
 - S&P/ASX 200 及び S&P/ASX 300 について、ASXの24セクターの1日の終わりの計算
 - 全普通株指数に代わり S&P/ASX 200 がオーストラリア市場の主要金融機関ベンチマーク指数となる。
 - その後、全普通株指数が構成銘柄に関する流動性要件なしに500企業を組み入れる変更を行い、事実上、オーストラリアの包括的な市場「インジケーター」指数となる。
- 2001 オーストラリア市場に世界産業分類基準(GICS®)が導入される：
- S&P/ASX 200 についてリアルタイムのGICS指数が開始される。
 - S&P/ASX 300 について1日の終わりのGICS指数が開始される。
- 2001 S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスがASXから指数の計算を引き継ぎ、独自の指数計算エンジンを使用し、日々の指数メソドロジーを効率化し、公式の最終的な指数価値の迅速な配信を可能にする。
- 2002 SSgAがS&P/ASX 200、S&P/ASX 50 及び S&P/ASX 200 プロパティ・トラスト指数について、streetTRACKS 200 及び 50 上場投資信託(ETF)を開始する。
S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスが旧ASX 24セクターを廃止する。
S&P/ASXのメソドロジーが変更され、浮動株の調整を取り入れる。
ASXがS&P/ASX 200についてASXミニ先物契約を開始する。
- 2004 SFEがSPIDO(SFE SPI 200™)イントラデイ・オプションを開始する。
ASXがS&P/ASX バイ・ライト指数を開始する。
S&P/ASX 200 価格指数が12月に4000ポイントの大台を上回る。
- 2006 S&P/ASX 200 価格指数が3月に5000ポイントの大台を上回って取引を終える。
S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスがS&P/ASX 300 金属・鉱業及び全普通株グローバル指数を開始する。
- 2007 S&P/ASX 200 価格指数が3月に6000ポイントの大台を上回って取引を終える。
S&P/ASXメソドロジーが変更され、ASXに上場している外国籍の企業の指数適格要件を拡大する。
S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスがS&P/ASX オール・オーストラリアン 50 及び S&P/ASX オール・オーストラリアン 200 を開始する。

- 2009 S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが S&P/ASX インフラストラクチャー及び S&P/ASX エマージング・カンパニー指数を開始する。
- 2010 S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが S&P/ASX 200 2 倍インバース・デیلیー指数及 S&P/ASX 200 2 倍 レバレッジ・デیلیー指数を開始する。
- 2010 S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが S&P/ASX ディビデンド・オポチュニティー指数を開始する。
- 2011 S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが S&P/ASX 中小型株指数及び S&P/ASX 100 均等加重 指数を開始する。
- 2014 S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが S&P/ASX 200 A-REIT 均等加重指数及びフランキンク・クレジット調整後トータル・ターン指数を開始する。
- 2015 S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが S&P/ASX 200 先物指数を開始する。
- 2016 S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが S&P/ASX 200 均等加重指数を開始する。
- 2020 S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが S&P/ASX オール・テクノロジー指数を開始する。
- 2022 S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが S&P/ASX アグリビジネス指数を開始する。
- 2023 S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが S&P/ASX 300 均等加重指数を開始する。

付属資料Ⅲ

メソドロジ-の変更

2015年1月1日以降のメソドロジ-の変更は以下のとおりです：

変更	メソドロジ-		
	有効日 (取引終了後)	変更前	変更後
セクター分類 S&P/ASX オール・テクノロジー指数	2023年3月17日	オール・テクノロジー=情報技術 45 (GICS ティア 1) プラス民生用電子機器 25201010、インターネット販売・通信販売 25502020、ヘルスケア・テクノロジー 35103010、インタラクティブ・メディア・サービス 50203010 (GICS ティア 4)	オール・テクノロジー=情報技術 45 (GICS ティア 1) +情報処理・外注サービス 20202030、民生用電子機器 25201010、ヘルスケア・テクノロジー 35103010、取引・決済処理サービス 40201060、インタラクティブ・メディア・サービス 50203010 (GICS ティア 4)
各りバランス間の除外	2023年1月3日	合併・買収活動のために除外される銘柄は、現金のみの買収提案については現金提示額で指数から除外されます。	合併・買収 (M&A) 活動のために除外される銘柄は、現金のみの買収提案については除外日における証券の終値で指数から除外されます。
構成銘柄のウェイト付け S&P/ASX オール・テクノロジー指数	2021年12月17日	この指数は浮動株調整後時価総額により加重されます。ただし、単一構成銘柄のウェイトは指数ウェイト全体の 25% を上限とします。	この指数は浮動株調整後時価総額により加重されます。ただし、単一構成銘柄のウェイトは指数ウェイト全体の 10% を上限とします。
流動性要件 S&P/ASX オール・テクノロジー指数	2021年12月17日	各証券の3ヶ月間の日々の出来高の中央値 (MDVT) はリバランス参照日時時点で最低 12 万オーストラリアドルである必要があります (現在の構成銘柄は 8 万オーストラリアドル)。	各証券の3ヶ月間の日々の出来高の中央値 (MDVT) はリバランス参照日時時点で最低 25 万オーストラリアドルである必要があります (現在の構成銘柄は 17 万 5,000 オーストラリアドル)。
ファースト・トラックによる IPO 銘柄の採用基準 S&P/ASX オール・テクノロジー指数	2021年12月17日	--	S&P/ASX オール・テクノロジー指数に関して、IPO はファースト・トラック・エントリーの対象となります。ただし、次の条件に従うものとします： <ul style="list-style-type: none"> 新たな IPO 銘柄と直接上場銘柄のみがファースト・トラック・エントリーの対象となります。 ファースト・トラックによって IPO 銘柄を採用する場合には、浮動株調整後時価総額の最低基準を満たしている必要があります。この最低基準は、証券レベルで 3 億オーストラリアドルであり、提供される株数 (オーバーアロットメント・オプションを除く) と、ASX における取引初日の終値を用いて計算されます。この基準の水準は適宜見直され、市場状況との一貫性を確保するために、必要に応じてアップデートされます。 これに加えて、IPO 銘柄は指数の流動性要件を除くその他全ての適格性基準を満たしている必要があります。全ての必要な公開情報が入手可能な場合、

変更	有効日	メソドロジー	
	(取引終了後)	変更前	変更後
			S&P DJI はファースト・トラック条件が満たされていることを検証します。IPO 銘柄がファースト・トラック・エントリーの適格性基準を満たしていると S&P DJI が発表した後、その銘柄は 5 営業日のリードタイムをもって指数に採用されます。四半期ごとのリバランス凍結期間中にファースト・トラックによって IPO 銘柄を採用することが可能な場合には、リバランス有効日に指数に採用されます。
リバランスの参照日及び通知日	2021 年 9 月 2 日	リバランスに用いられるデータの参照日は、3 月、6 月、及び 12 月のリバランス月の前月の最終金曜日となります。リバランス通知は、3 月、6 月及び 12 月の第 2 金曜日に行われます。 9 月のリバランスについては、参照日は 8 月の最後から 2 番目の金曜日となります。9 月のリバランス通知は、9 月の第 1 金曜日に行われます。	リバランスに用いられるデータの参照日は、リバランス月の前月の最後から 2 番目の金曜日となります。リバランス通知は、3 月、6 月、9 月、及び 12 月の第 1 金曜日に行われます。
株数の更新	2020 年 3 月 27 日	四半期毎のリバランス日時点で、現在使用されている株数と ASX による最新の株数が 5% またはそれ以上異なる場合、発行済み株数について更新が行われます。 四半期の途中での株数の変更は、有効日または信頼できる情報が入手でき次第実行に移されます。ただし、それは以下の状況においてのみ行われます： <ul style="list-style-type: none"> 市場全体の株式発行または市場外の大規模な自社株買いによる企業の発行済み株数の 5% またはそれ以上の変動 株主割当増資、無償発行及びその他の重要なコーポレート・アクション 指数構成企業の合併に起因する株式発行 合併または買収による株数の変動は、たとえ両社が同じ指数の構成銘柄でなくても、また変更の規模に関わらず、取引が発生する時に実施されます。 発行済み株数の四半期の途中の変更に関する通知は通常、指数の実行日の 3 営業日前に行われます。	株数は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Policies & Practices Methodology) に従って更新されます。
IWF の更新	2020 年 3 月 27 日	IWF は 9 月の四半期レビューの一環として毎年レビューされます。しかし、イベントの結果、ある証券の浮動株数が 5% 以上変更となる場合は、できる限り速やかに IWF の調整が行われます。	IWF は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Policies & Practices Methodology) に従って更新されます。
外国籍の証券に関する株数の更新	2019 年 6 月 21 日	外国籍の証券に関する株数の更新は 3 月のリバランス時に年 1 回行われます。発行済み株数の更新は、発行体の登録簿のオーストラリア部門 (提供される場合) 及び CHESSE が保有する CHESSE 預託証券	外国籍の証券に関する株数の更新は各四半期のリバランス時に行われます。発行済み株数の更新は、発行体の登録簿のオーストラリア部門 (提供される場合) 及び CHESSE が保有する CHESSE 預託証券

変更	有効日 (取引終了後)	メソドロジー	
		変更前	変更後
		(CDI) または証券総数の 6 ヶ月平均が 3 月のリバランス時点で、現在用いられる株数と 5% またはそれ以上異なる場合にのみ行われます。	(CDI) または証券総数の 3 ヶ月平均が リバランス参照日時点で、現在用いられる株数と 5% またはそれ以上異なる場合にのみ行われます。
四半期毎の株数更新の取扱い	2018 年 8 月 24 日	発行済み株数の更新は、浮動株調整後株数が 5% 以上または時価総額が 1 億豪ドル以上変動した場合に検討されます。 外国籍の証券の株数の更新は 3 月のリバランス時に年 1 回行われます。指数の組入株数の更新は、発行体の登録簿（提供される場合）のオーストラリア部門及び CHES が保有する CHES 預託証券 (CDI) または証券総数の 6 ヶ月平均が 3 月のリバランス時点で、現在の指数の組入株数と 5% 異なる場合または時価総額と 1 億豪ドル超異なる場合にのみ行われます。	発行済み株数の更新は、発行済み株数が 5% 以上変動した場合に検討されます。 外国籍の銘柄の株数の更新は 3 月のリバランス時に年 1 回行われます。発行済み株数の更新は、発行体の登録簿（提供される場合）のオーストラリア部門及び CHES が保有する CHES 預託証券 (CDI) または証券総数の 6 ヶ月平均が 3 月のリバランス時点で、現在の発行済み株数と 5% 以上異なる場合にのみ行われます。
四半期の途中の株数変更の取扱い	2018 年 8 月 24 日	四半期の途中の株数変更は、市場全体の株式発行や 1 億豪ドル超の時価総額の配当再投資プラン株式発行により、企業の浮動株調整後株数が 5% 以上変動した場合に行われます。	四半期の途中の株数変更は、市場全体の株式発行により、企業の発行済み株数が 5% 以上変動した場合に行われます。
参照日	2018 年 8 月 24 日	6 ヶ月間の取引データに用いられる参照日はリバランスの前月の最終金曜日となります。	9 月のリバランスを除き、6 ヶ月間の取引データに用いられる参照日はリバランスの前月の最終金曜日となります。 9 月のリバランスについては、6 ヶ月間の取引データに用いられる参照日は 8 月の最後から 2 番目の金曜日となります。
四半期の途中に新たに追加される銘柄に用いられるウェイト： S&P/ASX 100 均等加重指数	2016 年 10 月 7 日	四半期の途中に新たに追加される銘柄は 1.00% のウェイトで指数に追加されます。	四半期の途中に新たに追加される銘柄は代替銘柄のウェイトで指数に追加されます。
指数の名称変更： S&P/ASX 100 均等加重指数	2016 年 10 月 4 日	指数の名称は S&P/ASX 100 均等加重指数です。	指数の名称は S&P/ASX 100 均等加重指数

S&P Dow Jones Indices 免責事項

パフォーマンスに関する情報開示/バックテストされたデータ

S&P Dow Jones Indicesは、透明性を提供することにより顧客を支援するために、様々な日付を定義しています。初回評価日は、所定の指数の（現実またはバックテストの）計算値が存在する最初の日です。基準日とは、所定の指数が計算のために固定値で設定されている日付を指します。ローンチ日とは、所定の指数の価値が最初に現実と見なされる日付を指します。指数のローンチ日より前の任意の日付または期間に提供された指数値は、バックテストされたものと見なされます。S&P Dow Jones Indicesでは、ローンチ日につき、例えばS&P Dow Jones Indicesの公開ウェブサイトまたは外部当事者に対するそのデータフィードを介して、指数の価値が一般公表されたことが知られる日付と定義しています。2013年5月31日より前に導入されたDow Jonesブランドの指数については、ローンチ日（2013年5月31日より前は「導入日」と呼ばれていた）は、指数の一般公表日より前には認められていた可能性があるものの、指数メソドロジーに対するそれ以上の変更が認められなくなった日に設定されています。

指数のリバランスの方法とタイミング、追加及び削除の基準、ならびに全ての指数計算など、指数の詳細については、当該指数のメソドロジーを参照してください。

指数のローンチ日より前に提示された情報は全て、仮説に基づく（バックテストされた）ものであって、実際のパフォーマンスではありません。バックテスト計算は、指数のローンチ日に有効だったメソドロジーと同じ方法に基づいています。ただし、市場が異常を示した期間など、全体的な最新市場環境を反映していない期間を対象に、バックテストされた履歴を作成する場合には、十分に大きな同じ性質の証券を把握するために、指数メソドロジールールを緩和してもかまいません。それにより、その指数で測定することを意図した対象市場、またはその指数で把握することを意図した戦略のシミュレーションを行うことができます。例えば、市場時価総額と流動性の限界を引き下げることができます。さらに、S&P 暗号通貨指数のバックテスト・データに関しては、フォーク（ブロックチェーンの分岐）の影響が考慮されていません。S&P 暗号通貨トップ5イコール・ウェイト指数及びS&P 暗号通貨トップ10イコール・ウェイト指数については、メソドロジーのカストディ要素が考慮されておらず、バックテストの過去履歴は、ローンチ日時点においてカストディ要素の要件を満たす指数構成銘柄に基づいています。また、指数管理の決定を正確に複製することは困難であるため、バックテストされたパフォーマンスにおけるコーポレート・アクションの取り扱い、実在する指数に対するコーポレート・アクションの取り扱いと異なる場合があります。バックテストされたパフォーマンスは、指数のメソドロジーに加えて、事後的な情報やパフォーマンスによる影響を与えた可能性がある要因についての知識に基づく構成銘柄の選定を反映したものであり、結果に影響を及ぼしうる全ての財務リスクを考慮したものではなく、生存者バイアス/先読みバイアスが含まれていると見なすことも可能です。実際のリターンは、バックテストされたリターンとは大きく異なり、これよりも少ないものとなる場合があります。過去のパフォーマンスは将来の成績を示唆または保証するものではありません。

一般にS&P DJIでは、バックテストされた指数データを作成する際に、構成銘柄の実際の過去データ（過去の株価、時価総額、及び企業活動に関するデータ等）を使用します。ESG投資はまだ開発の初期段階にあるため、S&P DJIのESG関連インデックスを作成するために使用される一部のデータポイントは、過去のデータをバックテストしたい対象期間全体にわたり入手できない場合があります。データの利用可能性に関するこの問題は、他の指数にも当てはまります。対象となる全ての過去の期間に対して実際のデータが入手できない場合、S&P DJIでは、ESGデータの「バックワード・データ・アサンプション」（または、引き戻し）と呼ばれるプロセスを通じて、バックテストされた過去のパフォーマンスを算定する場合があります。「バックワード・データ・アサンプション」とは、当該指数の構成銘柄につき、指数のパフォーマンスを算定するために用いる過去のデータ全てに、入手可能な実際のデータポイント

のうち最も過去のもを適用するプロセスを指します。例えばバックワード・データ・アサンプションでは、その前提として、特定の業務活動（「製品関与」と呼ぶ場合もある）を現在行っていない企業は過去においてもかかる業務活動を行ったことがないと想定し、同様に、現在特定の業務活動を行っている企業は過去においてもかかる活動を行っていたと想定します。バックワード・データ・アサンプションは、実際のデータのみを使用する場合よりも長期にわたる過去の期間を対象として、仮説的なバックテストを可能にするものです。「バックワード・データ・アサンプション」について詳しく知りたい場合は、FAQをご覧ください。バックテストされた過去のパフォーマンスにつき、バックワード・データ・アサンプションを採用している指数では、そのメソドロジー及びファクトシートにおいてその旨を明記します。かかるメソドロジーには、遡及的にデータが適用された箇所における具体的なデータポイント及び当該の時期を示す表が記載された別紙が含まれます。

表示される指数の収益率は、投資資産/証券の実際の取引結果を表しません。S&P Dow Jones Indicesは、指数を維持し、提示または議論された指数のレベルとパフォーマンスを算出しますが、実際の資産を管理してはしません。指数の収益率は、指数のパフォーマンスを追跡するよう意図された、指数または投資ファンドの基礎となる、投資家が証券を購入するために支払う販売手数料や料金の支払いを反映していません。これらの料金や手数料が課されることで、証券/ファンドの実際及びバックテストのパフォーマンスは、提示される指数パフォーマンスよりも低くなる可能性があります。簡単な例としては、10万米ドルの投資に指数が12ヶ月間に10%の収益率（つまり1万米ドル）を上げ、投資に経過利息を加えた金額に1.5%の実際の資産ベースの手数料（つまり1,650米ドル）が課されると、1年間の純収益率は8.35%（つまり8,350米ドル）になります。3年間にわたり、年10%の収益率で、年末に年1.5%の手数料を徴収されると想定すると、結果的に累積総収益率は33.10%、合計手数料は5,375米ドル、及び累積純収益率は27.2%（つまり2万7,200米ドル）になります。

知的財産権/免責条項

© 2024 S&P Dow Jones Indices。無断複写・転載を禁じます。S&P、S&P 500、SPX、SPY、The 500、US 500、US 30、S&P 100、S&P COMPOSITE 1500、S&P 400、S&P MIDCAP 400、S&P 600、S&P SMALLCAP 600、S&P GIVI、GLOBAL TITANS、DIVIDEND ARISTOCRATS、Select Sector、S&P MAESTRO、S&P PRISM、S&P STRIDE、GICS、SPIVA、SPDR、INDEXOLOGY、iTraxx、iBoxx、ABX、ADBI、CDX、CMBX、MBX、MCDX、PRIMEX、HHPI、及び SOVX は、S&P Global, Inc.（以下、「S&P Global」という）またはその関係会社の登録商標です。DOW JONES、DJIA、THE DOW、及び DOW JONES INDUSTRIAL AVERAGE は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の商標です。これらの商標は、その他と一緒に S&P Dow Jones Indices LLC にライセンス供与されています。再配布または複製は、全部か一部かを問わず、S&P Dow Jones Indices LLC の書面による許可がない限り禁止されています。本文書は、S&P DJI が必要なライセンスを持たない法域でサービスを提供するものではありません。特定のカスタム指数計算サービスを除き、S&P DJI が提供する全ての情報は個人とは無関係なものであり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整されたものではありません。S&P DJI は、第三者にその指数をライセンス供与すること、及びカスタム計算サービスを提供することに関連して報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは、将来の成績を示唆または保証するものでもありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表す資産クラスへのエクスポージャーは、その指数に基づく投資可能な商品を通して利用できる場合があります。S&P DJI は、第三者が提供する、また指数のパフォーマンスに基づく投資収益を提供しようとするいかなる投資ファンドまたはその他の投資手段についても、スポンサー、保証、販売、販売促進または管理を行いません。S&P DJI は、指数に基づく投資商品が、指数のパフォーマンスを正確に追跡する、またはプラスの投資収益率を提供することを保証しません。S&P DJI は投資顧問会社、商品投資顧問業者、受託者、「プロモーター」（1940年投資会社法（改訂）において定義されている）、または「エキスパート」（合衆国法典第15編第77条（15 U.S.C. § 77k）内に列挙されている）ではなく、また S&P DJI はかかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資の妥当性に関して一切表明することはありません。かかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資決定は、本文書に記載される意見に頼って行われるべきではありません。S&P DJI は税金の顧

間会社ではありません。指数に証券が含まれることは、S&P DJI がかかる証券、コモディティ、暗号通貨、またはその他の資産の売り、買い、またはホルドの推奨を意味するものではなく、投資または取引のアドバイスとして見なしてはなりません。

これらの資料は、一般的に公衆が利用可能な信頼できると確信される情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されています。これらの資料に記載される内容（指数データ、格付け、信用関連の分析やデータ、リサーチ、評価、モデル、ソフトウェアやその他のアプリケーションまたはそれからのアウトプット）またはそのいかなる部分（「内容」）も、S&P DJIによる事前の書面による承認なく、いかなる形式やいかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、複製または配布、もしくはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容は、違法または未許可の目的で使用してはなりません。S&P DJI及びその第三者データプロバイダーならびにライセンサー（総称して「S&P Dow Jones Indices当事者」）は、内容の正確性、完全性、適時性または利用可能性について保証しません。S&P Dow Jones Indices当事者は、理由に関係なく、内容の利用から得られた結果について、いかなる過誤または遺漏に対しても責任を負いません。内容は、「現状有姿」で提供されています。S&P DOW JONES INDICES当事者は、商品性または特定目的や利用への適合性、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、もしくは内容がいかなるソフトウェアやハードウェア構成によっても動作することを含むがこれに限定されない、あらゆる明示または黙示の保証も否認します。S&P Dow Jones Indices当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連する、いかなる直接的、間接的、付随的、懲罰的、補償的、懲戒的、特別または派生的な損害、費用、経費、法的費用、または損失に対しても（逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含むがこれに限定されない）、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

信用関連の情報、及び格付け、リサーチ及び評価を含むその他の分析は、一般に、ライセンサー及び/または S&P Global Market Intelligence といった S&P Global のその他の部門を含むがこれに限定されない、S&P Dow Jones Indices の関連会社によって提供されています。信用関連の情報ならびに内容の中のその他の関連分析及び発言は、表明された日時点での意見の記述であり、事実を記述したものではありません。いかなる意見、分析及び格付承認決定も、証券を購入、保有または売却するため、または投資決定を行うための推奨ではなく、いかなる証券の適合性について言及するものではありません。S&P Dow Jones Indices は、いかなる形態または形式でも、公表後に内容を更新する義務を負いません。投資またはその他のビジネス上の決定を行う際に、内容に頼るべきではなく、また利用者、その経営陣、従業員、顧問及び/または顧客のスキル、判断及び経験またそれらの代わりとなるものでもありません。S&P Dow Jones Indices LLC は、受託者または投資顧問会社としては行動しません。S&P Dow Jones Indices は、信頼できると確信する情報源から情報を取得するものの、S&P Dow Jones Indices は、受領する情報の監査を行ったり、デューディリジェンスや独立した検証の義務を負ったりしません。S&P DJI は、規制またはその他の理由により、いつでも指数を変更または中止する権利を留保します。様々な要因（S&P DJI が管理できない外部要因を含む）により、指数の大幅な変更が必要となる場合があります。

規制機関が格付機関に対して、特定の規制目的で別の法域で発行された格付けをある法域で承認することを認める範囲で、S&P Global Ratings は、いつでもその単独の判断で、かかる承認を割当、撤回または停止する権利を留保します。S&P Dow Jones Indices は、S&P Global Ratings を含め、承認の割当、撤回または停止から生じるいかなる義務も、またその理由で被ったと主張されるいかなる損害の賠償責任も否認します。S&P Dow Jones Indices LLC の関連会社は、S&P Global Ratings を含め、その格付け及び特定の信用関連の分析に対して、通常は発行体または証券の引受会社もしくは債務者から報酬を受ける場合があります。かかる S&P Dow Jones Indices の関連会社は、S&P Global Ratings を含め、その意見及び分析を普及させる権利を留保します。S&P Global Ratings からの公開格付け及び分析は、そのウェブサイト、www.standardandpoors.com（無料）及び www.ratingsdirect.com と www.globalcreditportal.com（購読）で利用でき、S&P Global Ratings の出版物及び第三者再配布業者を通じた場合を含め、その他の方法で配布される場合があります。当社の格付け料金についての追加の情報は、www.standardandpoors.com/usratingsfees から入手できます。

S&P Global は、その様々な部門及び事業部の特定の活動を、それらの各活動の独立性と客観性を守るために相互に分離しています。その結果、S&P Global の特定の部門及び事業部が、他の事業部では利用できない情報を保有している場合があります。S&P Global は、各分析プロセスに関連して受け取った特定の非公開情報の秘密性を保持するために、方針及び手順を確立しています。

さらに、**S&P Dow Jones Indices**は、証券の発行体、投資顧問、ブローカーディーラー、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介機関を含む多くの組織に対して、またはそれらに関連して、広範なサービスを提供しており、従って、推薦、格付け、モデルポートフォリオへ組み入れ、評価または別途言及する可能性がある証券やサービスの組織を含め、それらの組織から手数料またはその他の経済的利益を受ける場合があります。

一部の指数では世界産業分類基準（**GICS®**）を使用しています。これは、**S&P Global**と**MSCI**によって作成され、同二社の独占的財産かつ商標です。**MSCI**、**S&P DJI**、及び**GICS**分類の作成または編纂に関与したその他の当事者のいずれも、かかる基準または分類（またはそれを利用することで得られる結果）に関して、いかなる明示的または黙示的な保証または保証も行わず、かかる当事者は全て、かかる基準または分類に関して、独自性、正確性、完全性、商品性または特定目的への適合性の全ての保証を本書により明示的に否認します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合でも、**MSCI**、**S&P DJI**、その関連会社または**GICS**分類の作成または編纂に関わるいかなる第三者も、いかなる直接的、間接的、特別、懲戒的、派生的、またはその他の損害（逸失利益を含む）について、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

S&P Dow Jones Indicesの商品は、それらの商品が提供される契約の条件により管理されています。**S&P Dow Jones Indices**及び（または）指数データを使用する、これに基づいている、及び（または）これを参照する商品あるいはサービスを表示する、そこから派生するデリバティブ商品を組成する、及び（または）配布するには、**S&P Dow Jones Indices**からライセンスを取得する必要があります。

ESG 指数の免責事項

S&P DJIは、特定の環境・社会・ガバナンス（**ESG**）指標、または以下のような指標の組み合わせに基づいて（ただし、これらに限定されない）、指数構成銘柄の選択、除外、及び（または）ウェイト設定を行います：環境指標（天然資源の効率的利用、廃棄物の生産、温室効果ガス排出量、または生物多様性への影響など）、社会指標（不平等及び人材投資など）、ガバナンス指標（健全な経営陣の構成、従業員との関係、従業員の報酬、税務コンプライアンス、人権尊重、汚職防止、及び贈賄防止など）、特定の持続可能性または価値観に関連する企業の関与指標（例えば、非人道的兵器、タバコ製品、燃料炭の製造/販売など）、または論争の的となる問題のモニタリング（**ESG**関連事件に関与する企業を特定するための報道機関のリサーチを含む）。

S&P DJIの**ESG**指数では、指数構成銘柄の選択及び（または）ウェイト付けにおいて**ESG**指標や**ESG**スコアを使用しています。**ESG**スコアまたは格付けでは、環境、社会、及びコーポレート・ガバナンスの問題に関する企業あるいは資産のパフォーマンスを測定・評価することに努めています。

S&P DJIの**ESG**指数で使用される**ESG**スコア、格付け、及びその他のデータは、サードパーティにより直接的または間接的に提供されています（これらのサードパーティは、**S&P** グローバルの独立した関連会社である場合もあれば、無関係の事業体である場合もある）。したがって、**S&P DJI**の**ESG**指数が**ESG**要因を反映できるかどうかについては、これらのサードパーティが提供するデータの正確性や入手可能性に左右されます。

ESGスコア、格付け、及びその他のデータは、報告される（つまり、データが企業または資産により開示されたものとして提供されている、または公に入手可能なものとして提供されている）、モデル化される（つまり、データがプロキシのみを使用して作成され、独自のモデル化プロセスを使用して導き出されている）、または報告・モデル化される（つまり、データが報告されたデータとモデル化されたデータの組み合わせであるか、または独自のスコアリングや決定プロセスにおいて報告されたデータ/情報を使用してベンダーから導き出されるかのいずれかである）場合があります。

ESGスコア、格付け、及びその他のデータは、外部及び（または）内部の情報源から提供されるかを問わず、定性的評価及び判断的評価に基づいています。特に、明確に定義された市場基準が存在しない場合には、独自の判断を行う必要があります。これは、ESG要因や検討事項を評価する上で複数のアプローチやメソッドロジーが存在するためです。したがって、ESGスコア、格付け、またはその他のデータには、主観的な要素や裁量的な要素が含まれています。ESGスコアリング、格付け、及びデータソースが異なれば、ESGの評価手法や推定メソッドロジーも異なる場合があります。また、特定の企業、資産、または指数の持続可能性やインパクト（社会・環境への影響）に関しては、関与する人（ESGデータの格付けプロバイダーまたはスコアリングのプロバイダー、指数のアドミニストレーター、あるいはユーザーを含む）が異なれば、最終的な結論も異なる場合があります。

指数が、サードパーティにより直接的または間接的に提供されるESGスコア、格付け、またはその他のデータを使用している場合、S&P DJIは当該ESGスコア、格付け、またはデータの完全性や正確性について責任を負いません。「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、または同等に分類されるその他の目的を決定するための単一の明確かつ決定的なテストや枠組み（法的、規制的、またはその他）は存在しません。明確に定義された市場基準がない場合、または数多くのアプローチが存在することにより、独自の判断を行う必要があります。したがって、「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、あるいは同等に分類されるその他の目的に関して、関与する人が異なれば、同じ投資、商品、及び戦略について異なる分類が行われる場合があります。さらに、新たな規制及び業界の規則やガイダンスが発行され、ESGサステナブル・ファイナンスの枠組みがアップデートされている中で、「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、あるいは同等に分類されるその他の目的を構成するものに関する法的及び（または）市場の見解は、時間の経過とともに変化する可能性があります。

S&P DJIのESG指数のユーザーは、指数メソッドロジーや開示情報を注意深く読み、その指数が使用事例や投資目的に合致しているかどうかを判断することが推奨されます。